

クレジット:

UTokyo Online Education 東大FFP 2021 栗田 佳代子

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



# キャリアパスを考える

## 構造化アカデミック・ポートフォリオ\*

### チャート作成

---

DAY8については、16期(2020年Aセメスター)の  
授業を公開しております。  
(Sセメスターの内容と同様の構成です)

**DAY8**

**2021年1月8日 or 14日**

**\*SAP; Structured Academic Portfolio**

# 位置づけ



# 目的と到達目標

## 目的

**SAP, SAPチャートの構造や作成の意義を理解し、自身の振り返りや展望に活用する**

## 到達目標

### SAPチャートの作成を通じて

- 自身の各活動を振り返って整理し、教育理念や研究の意義を可視化する
- 自身の各活動間の関連性に気づく
- 将来について展望し、目標を定める

# 目次

---

1. 構造化アカデミック・ポートフォリオ  
(SAP; Structured Academic Portfolio)
2. SAP チャート
3. SAP チャート作成

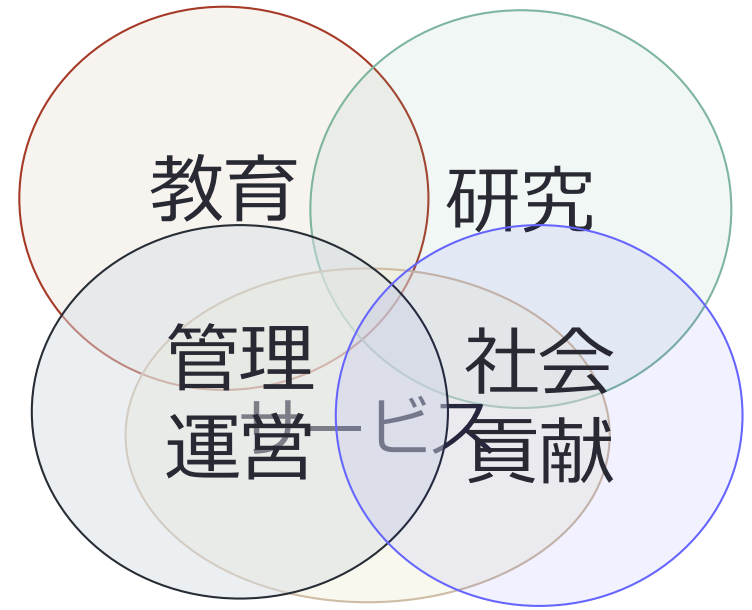
# 1. 構造化アカデミック・ポートフォリオ

---

# SAP ~背景~

## 教員の責務

- ❖ 教育
- ❖ 研究
- ❖ 管理運営 + 社会貢献  
→ サービス



## 大学の質保証と説明責任



## 大学教員の多角的業績評価と自己省察

そのための一方法 **Academic Portfolio**

# SAP ～基本構成～

- 大学教員としての活動に関する、自己省察による記述と根拠資料を集約した書類
- 記述内容が構造化され、作成の手順・要点が明確

## はじめに

### 大学教員としての責任

#### 教育

理念  
方針・方法  
経験  
改善  
評価・成果  
目標

#### 研究

理念・意義・目的  
代表的な研究  
獲得した研究資金  
知識・技術・技能  
目標

#### サービス

#### 統合

各活動の相互作用  
主要な成果  
大学教員としてのコア  
目標

#### おわりに



# SAP ～作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化

# SAP ～大学院生による作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化

## 2. SAPチャート

---

# SAP チャート ~SAP チャートとは~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

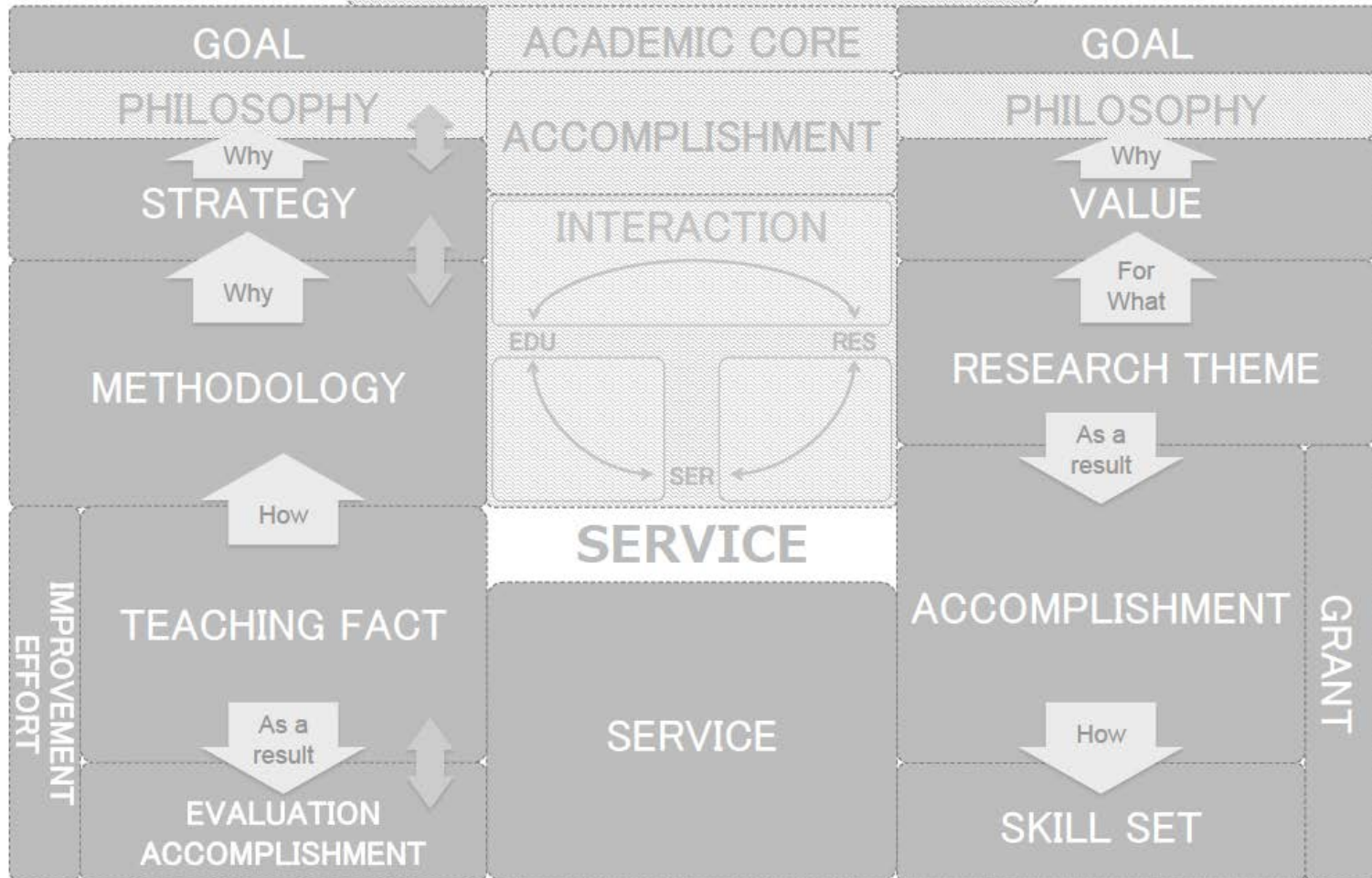
WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

RESEARCH



# SAP チャート ~SAP チャートとは~



SAPチャートは  
SAP の全体像を可視化している

# SAP チャート ~SAP チャートとは~



# SAP チャート ～作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化
- SAP の全体像・作成手順の把握


## 3. SAPチャートの作成

---



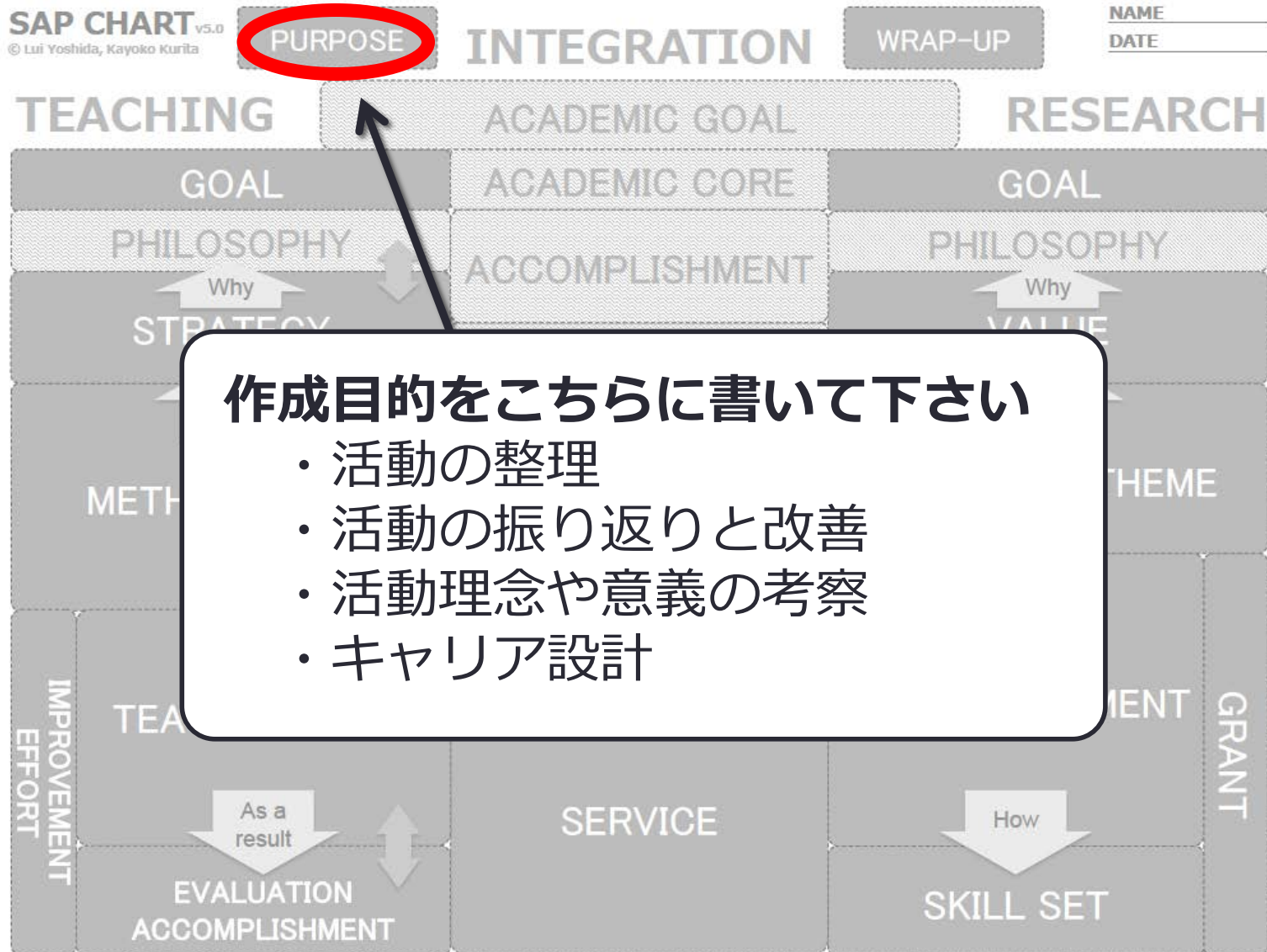
# SAP チャート ~作成プロセス~

---

- 流れについて
  - 教育 → 研究 → サービス → 統合
- ふせんについて
  - 各エリアにふせんを貼って整理していく
  - 各ふせん1枚につき1つのキーワード, 短文を記入する
  - 黄: これまで・現在のこと
  - 青: これからのこと
  - 赤: 大事なこと
  - : 個人エピソード
- オプション項目について
  - 【斜線の項目】 大切ですが非常に時間がかかる項目

**空白, 青のふせんが多くても全く問題ありません!**

# SAP チャート作成 ~作成目的~



# SAP チャート作成 ~教育~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

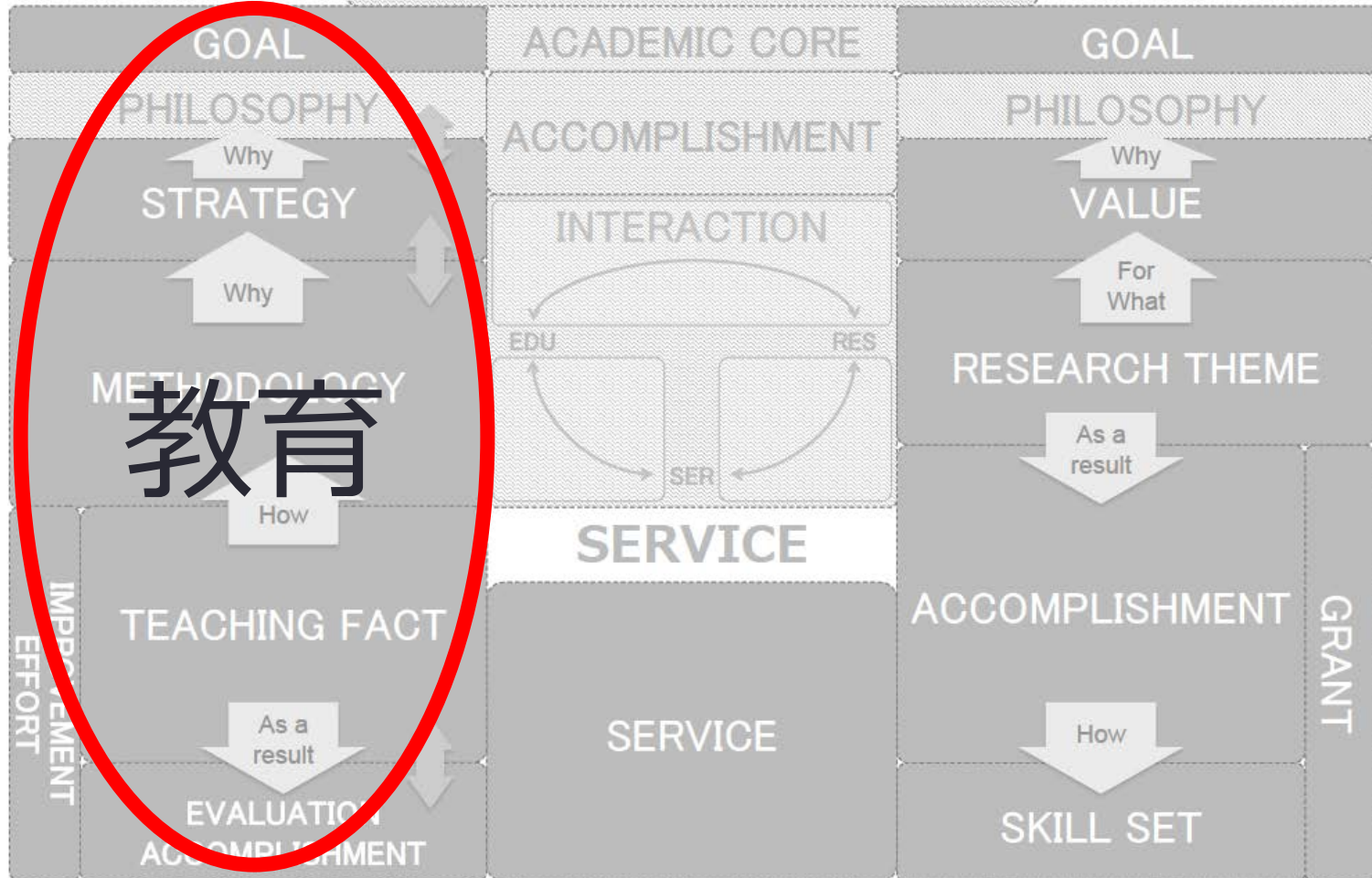
WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

RESEARCH

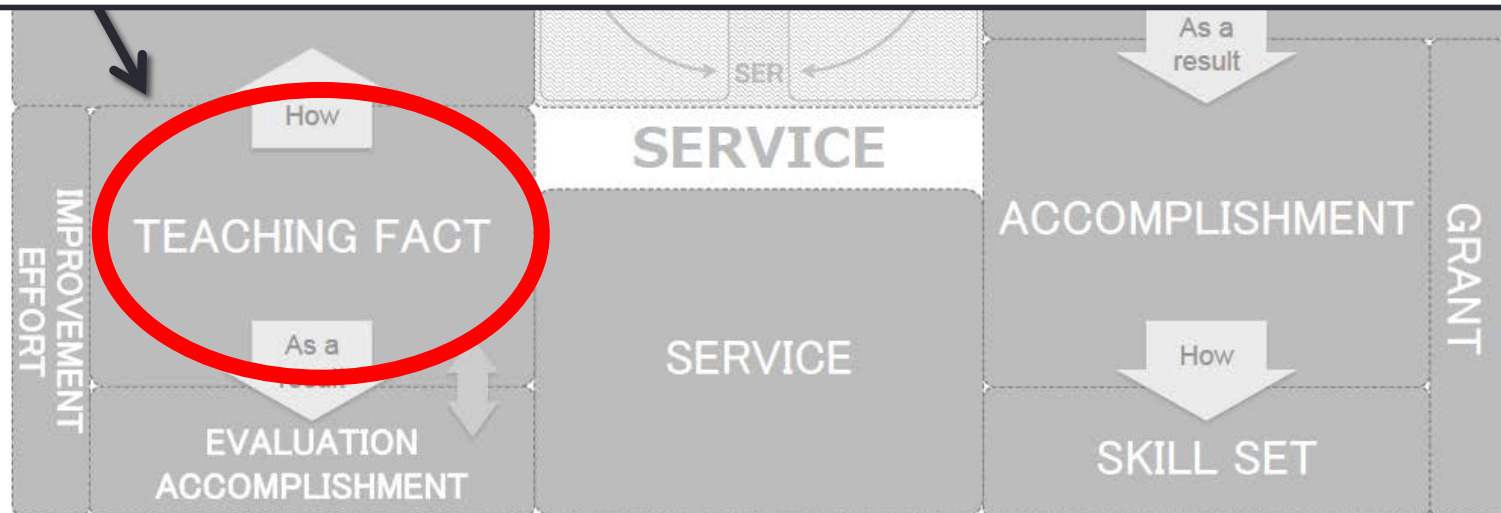


# SAP チャート作成 ~教育~

「TEACHING FACT」に教育経験を書いてください  
(振り返る上で重要だと思う教育経験であれば、担当授業、TA 以外でも挙げてもらって問題ありません)

- ・ 授業科目「プログラミング入門」
- ・ TA「分子生物学」
- ・ 研究室後輩の指導

※過去3-5年以内の活動を対象とします (以下同じ)



# SAP チャート作成 ～教育～

SAP CHART v5.0

PURPOSE

INTEGRATION

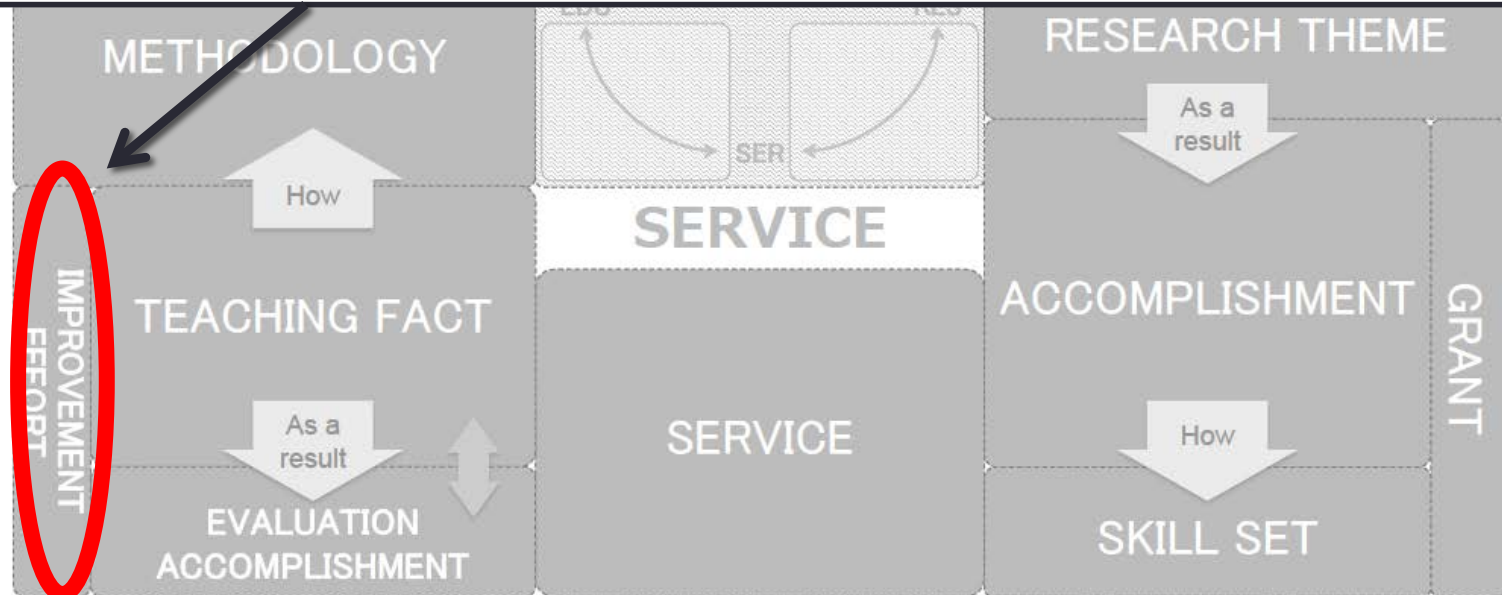
WRAP UP

NAME

DATE

「IMPROVEMENT」にあなたがこれまでに行った教育活動の改善および改善を目的とした活動を書いてください

- ・レポート課題の採点方法としてルーブリックを導入
- ・反転授業を導入し、ディスカッション中心の授業に変更
- ・授業方法の向上を目的としたにプログラムの受講



# SAP チャート作成 ～教育～

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

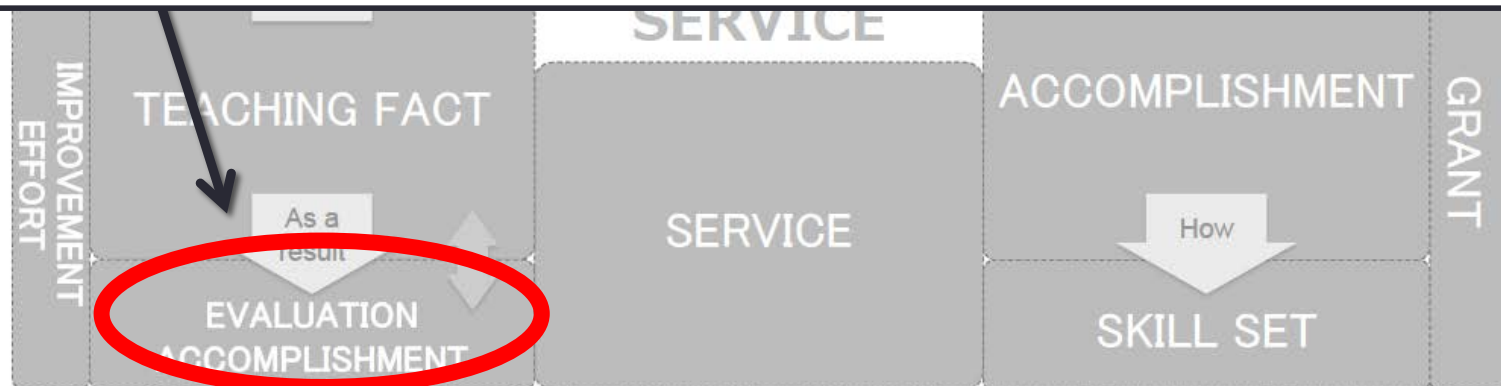
INTEGRATION

WRAP-UP

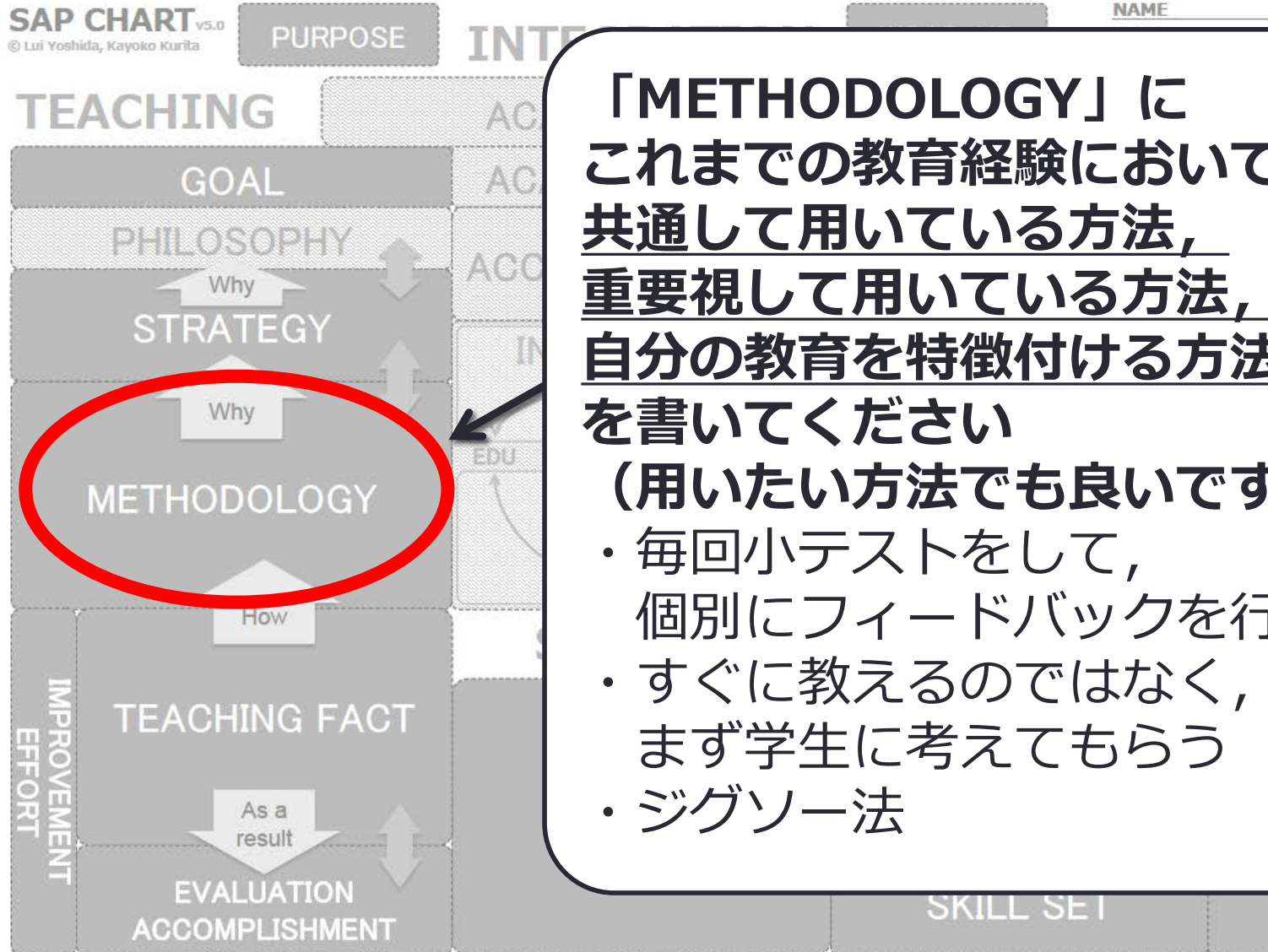
NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

「EVALUATION / ACCOMPLISHMENT」に、あなたの教育活動に対する学生や第三者からの評価、学生の成長や受賞といった教育活動の成果を書いてください

- ・ 学生からの評価
- ・ 同僚からの評価
- ・ Best Teacher Award 受賞
- ・ 学生の受賞



# SAP チャート作成 ~教育~



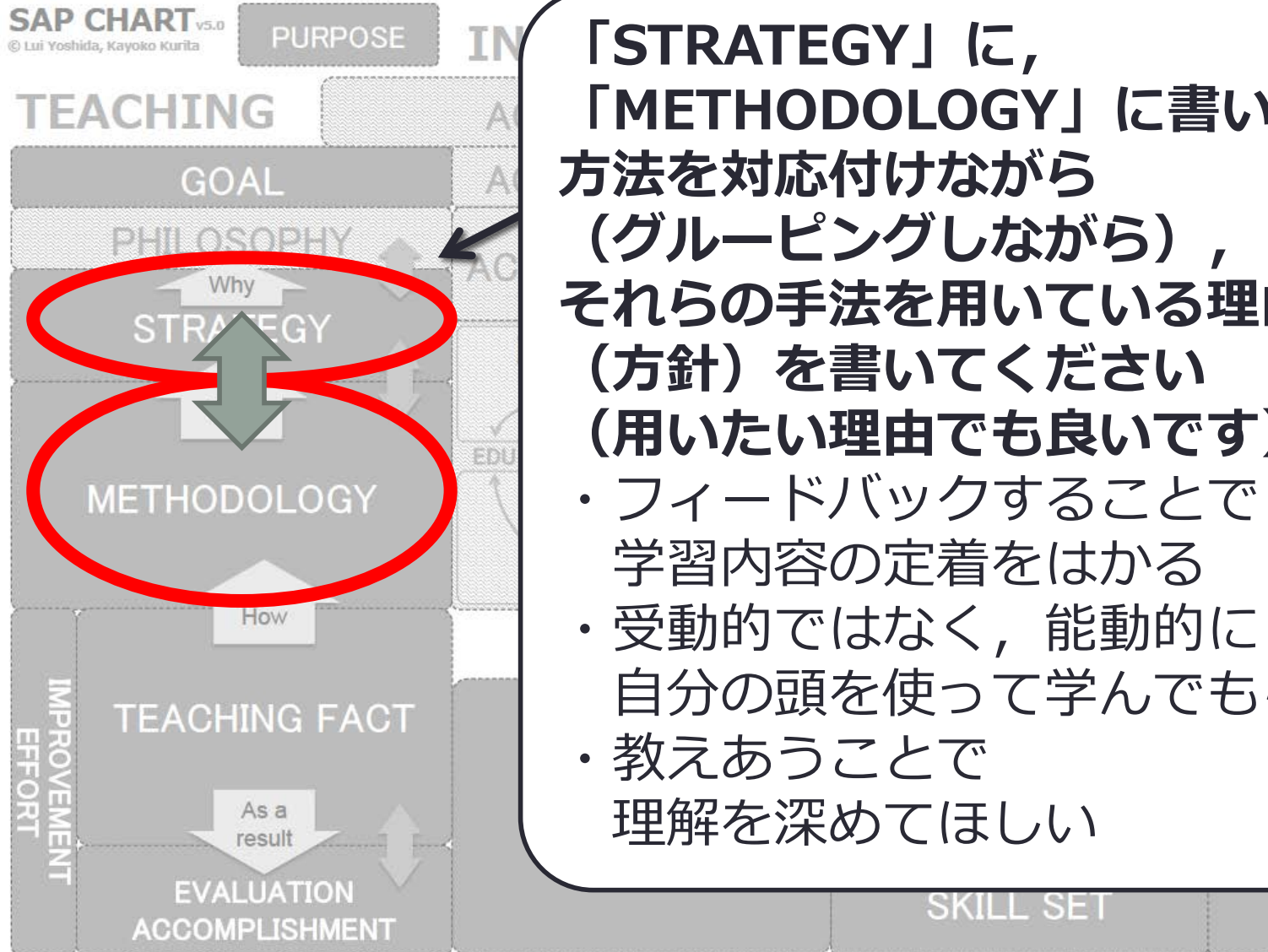
「**METHODOLOGY**」に  
これまでの教育経験において  
共通して用いている方法,  
重要視して用いている方法,  
自分の教育を特徴付ける方法  
を書いてください

(用いたい方法でも良いです)

- ・ 毎回小テストをして、  
個別にフィードバックを行う
- ・ すぐに教えるのではなく、  
まず学生に考えてもらう
- ・ ジグソー法

# SAP チャート作成 ~教育~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

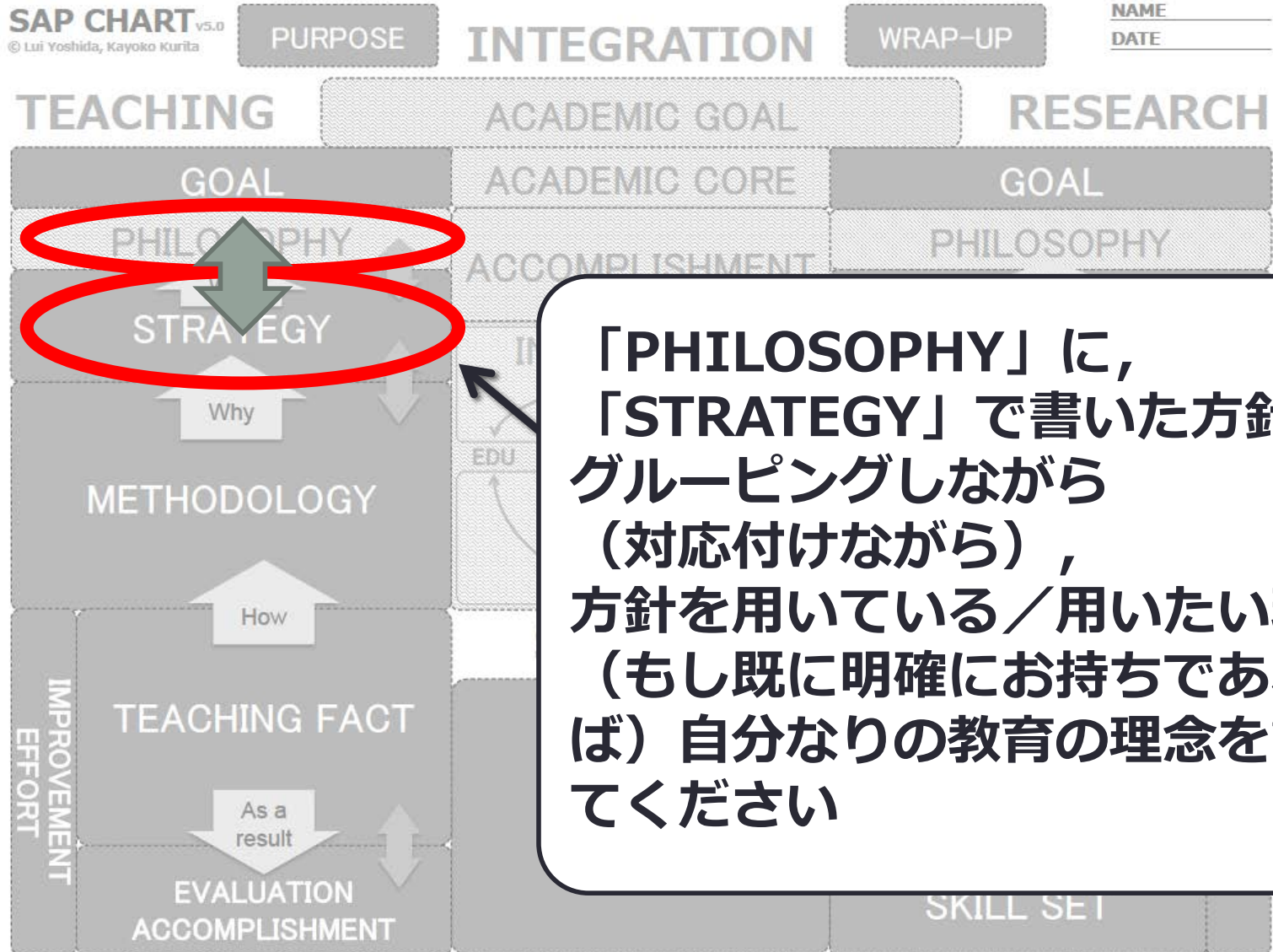


「STRATEGY」に、  
「METHODOLOGY」に書いた  
方法を対応付けながら  
(グルーピングしながら)、  
それらの手法を用いている理由  
(方針)を書いてください  
(用いたい理由でも良いです)

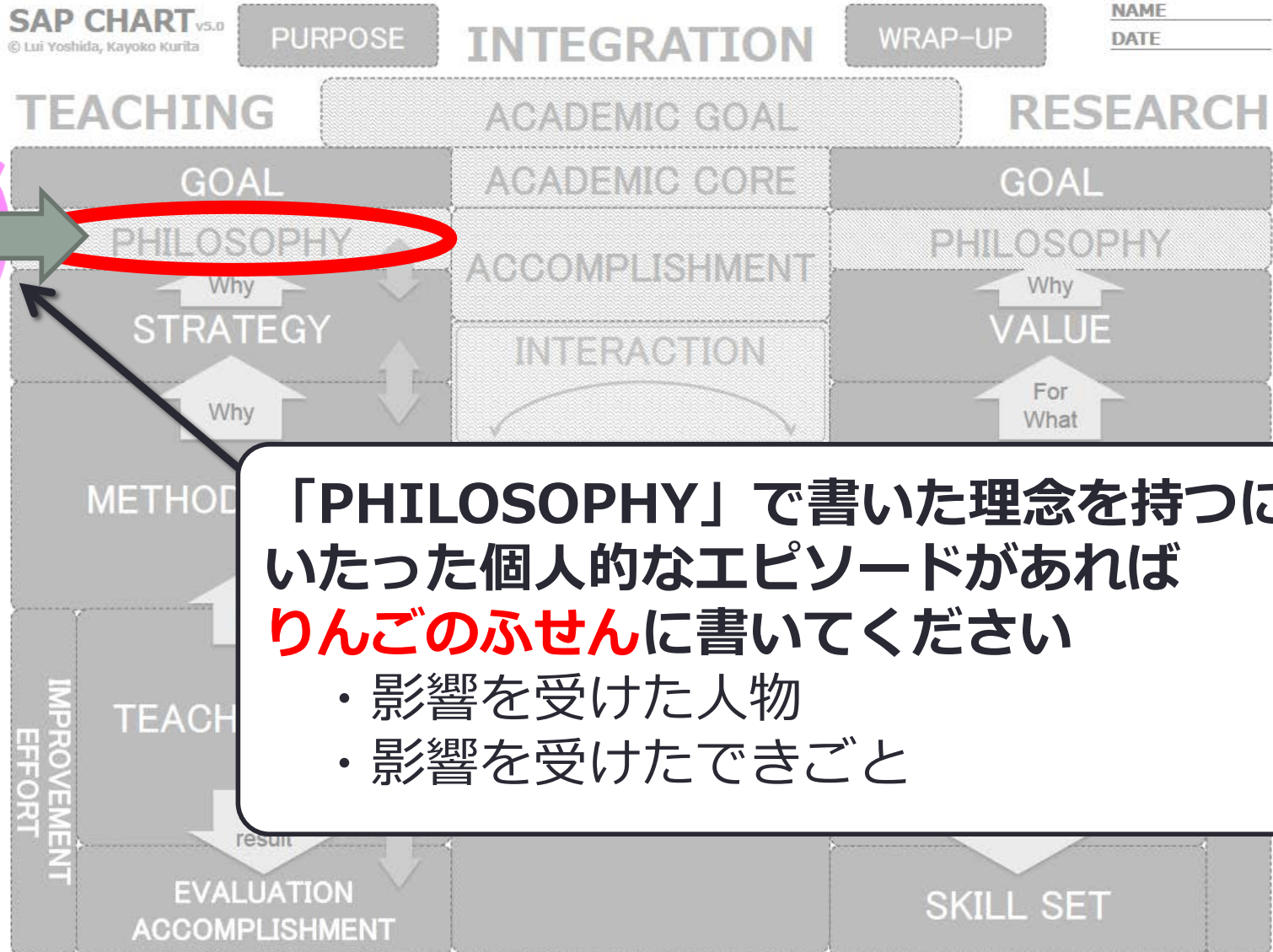
- ・フィードバックすることで  
学習内容の定着をはかる
- ・受動的ではなく、能動的に  
自分の頭を使って学んでもらう
- ・教えあうことで  
理解を深めてほしい



# SAP チャート作成 ~教育~



# SAP チャート作成 ~教育~



# SAP チャート作成 ~教育~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_

DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

RESEARCH

GOAL

PHILOSOPHY

STRATEGY

METHODOLOGY

How

TEACHING FACT

As a  
resultEVALUATION  
ACCOMPLISHMENTIMPROVEMENT  
EFFORT

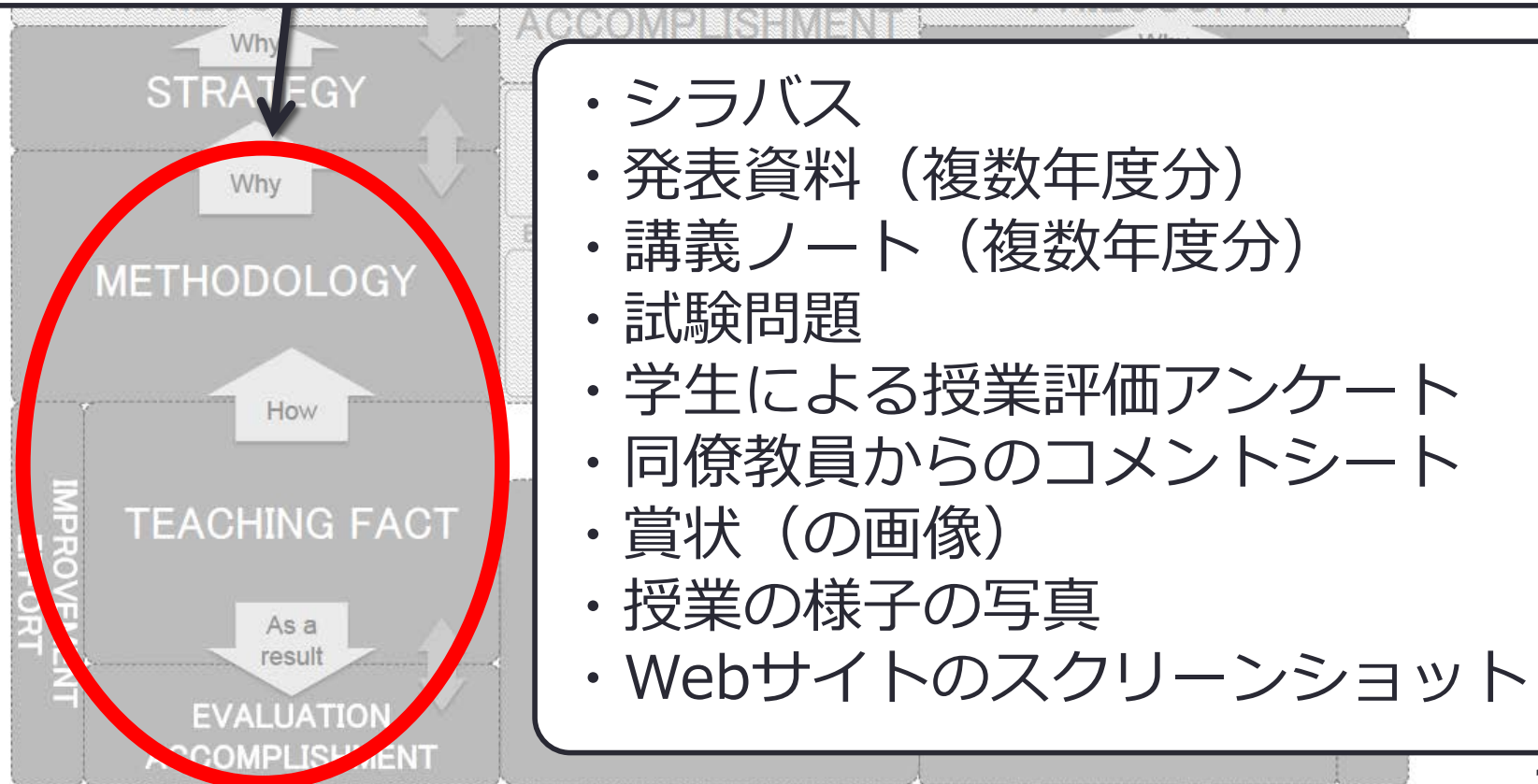
SKILL SET

「PHILOSOPHY」で書いた理念,  
「STRATEGY」で書いた方針,  
「METHODOLOGY」で書いた方法,  
が対応付いているか確認して下さい

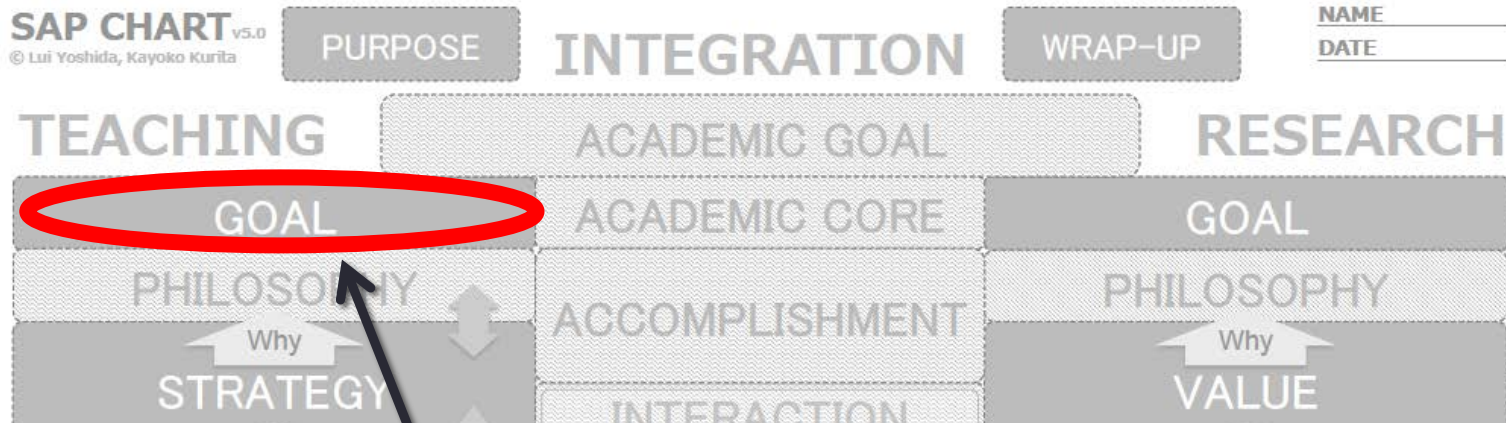
- ・ 書いた方針が, 理念を実現するための方針となっているか?  
(理念は方針に対して 過不足ないか?)
- ・ 方針に出てこない方法はないか?

# SAP チャート作成 ~教育~

「METHODOLOGY」 「TEACHING FACT」  
「IMPROVEMENT」 「EVALUATION/ACCOMPLISHMENT」  
の内容に対するエビデンスを書いてください



# SAP チャート作成 ~教育~



**「GOAL」に「TEACHING FACT」「METHODOLOGY」「STRATEGY」「PHILOSOPHY」「IMPROVEMENT」「EVALUATION/ACCOMPLISHMENT」を見直して、今後達成したい教育に関する目標を書いてください**

- ・ 新たな教育手法を用いる
- ・ ワークショップに参加する
- ・ 1年以内に授業科目を担当する

EVALUATION  
ACCOMPLISHMENT

SKILL SET

# SAP チャート作成 ~シェア~

- 手元のチャートをもとに, ご自身の専門を伝え「教育理念」および「理念を具現化している方針・方法」とともに, 相手に説明しましょう
- 話し手
  - PHILOSOPHY と STRATEGY の**対応付け**を説明しましょう
  - PHILOSOPHY と個人エピソードの**対応付け**を説明しましょう
  - 専門用語は極力使わない
- 聞き手
  - まずは聞くことに徹してください
  - ポジティブなフィードバック
  - 理念については「繰り返し」「言い換え」あるいは「さらなる問いかけ」

# SAP チャート作成 ~研究~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

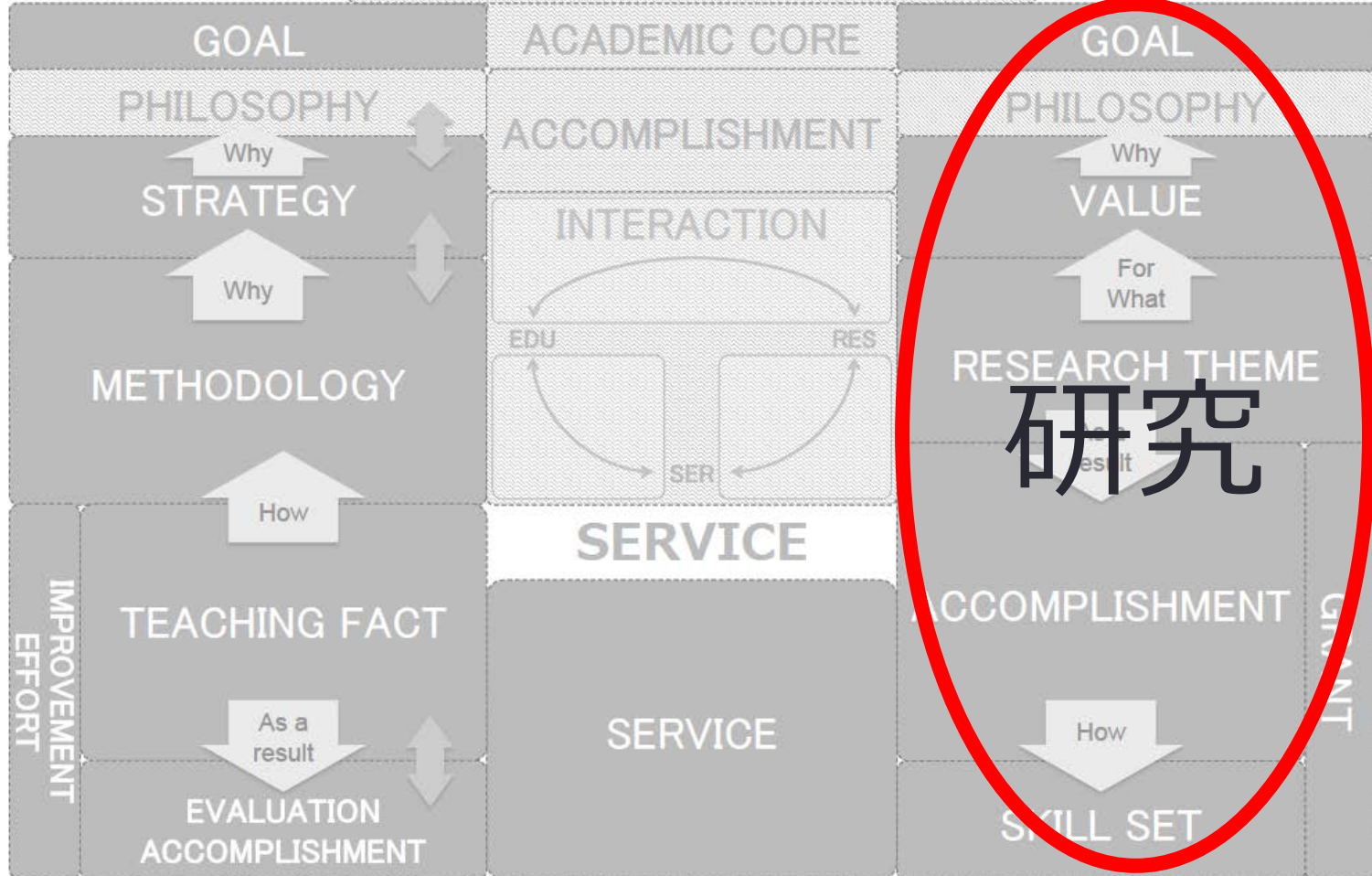
WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

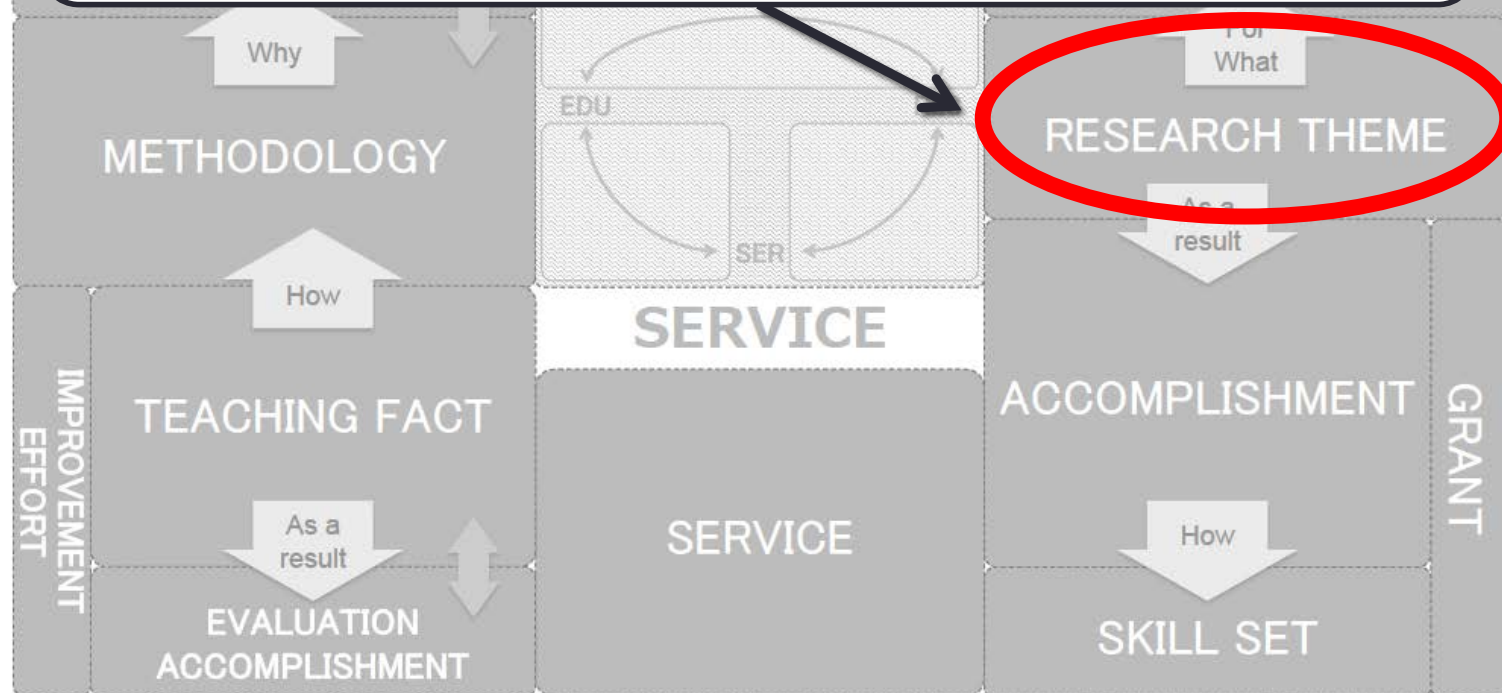
RESEARCH



# SAP チャート作成 ~研究~

「RESEARCH THEME」に研究テーマについて挙げてください

- ・ポートフォリオ・プログラムの開発
- ・神経回路における情報処理機構の解明
- ・がん細胞における遺伝子マーカーの発見





# SAP チャート作成 ~研究~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

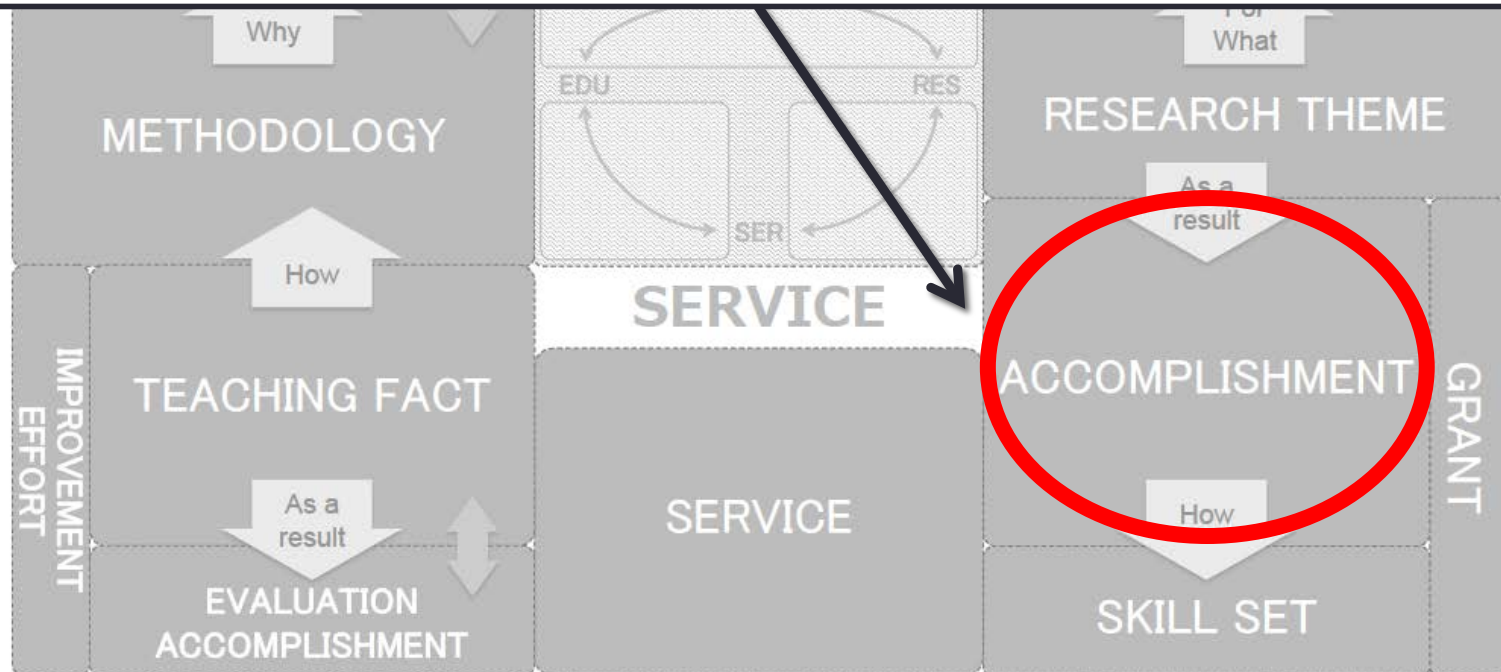
PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

「ACCOMPLISHMENT」に「RESEARCH THEME」で挙げた研究テーマに関する主な業績（論文，学会発表など）を書いてください



# SAP チャート作成 ~研究~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

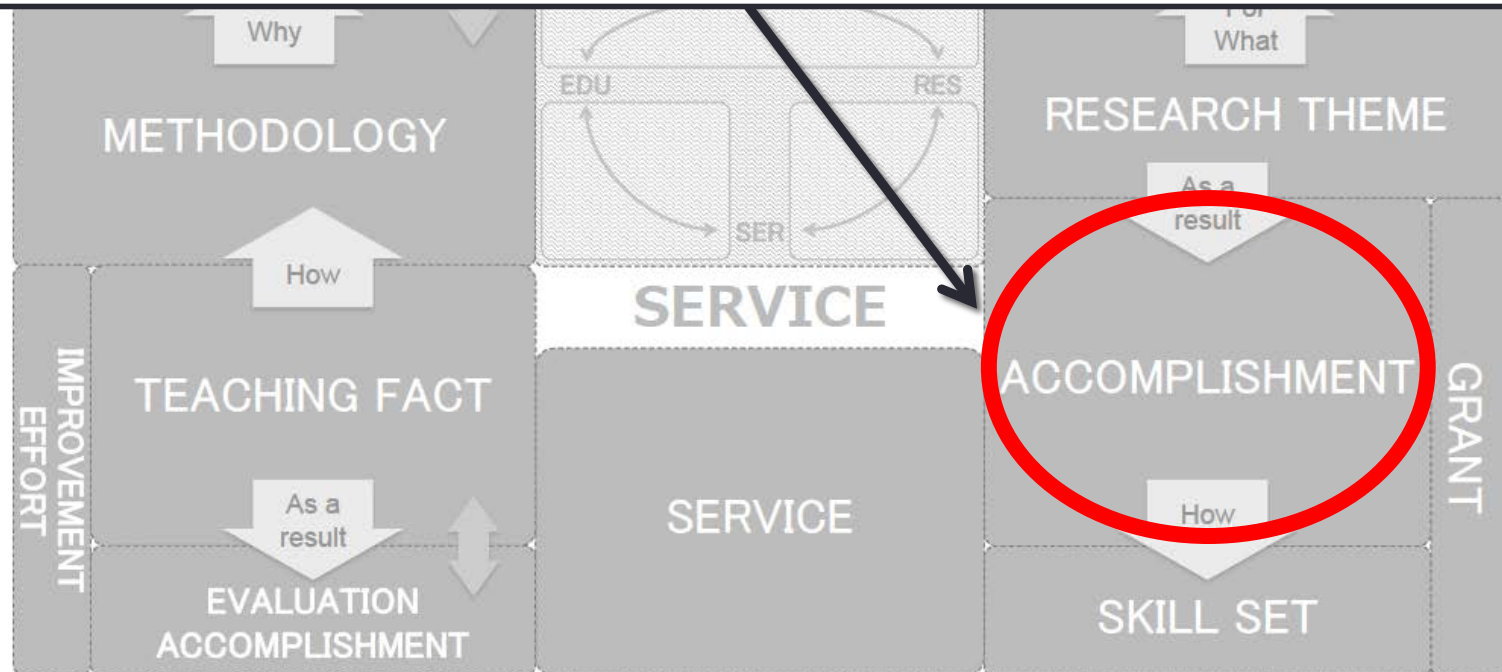
PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

「ACCOMPLISHMENT」の中で、重要なものを最大3つ選び、赤ふせんで書き直し、なぜそれが重要なのか、その理由や意義を黄ふせんに書いてください



# SAP チャート作成 ~研究~



# SAP チャート作成 ～研究～

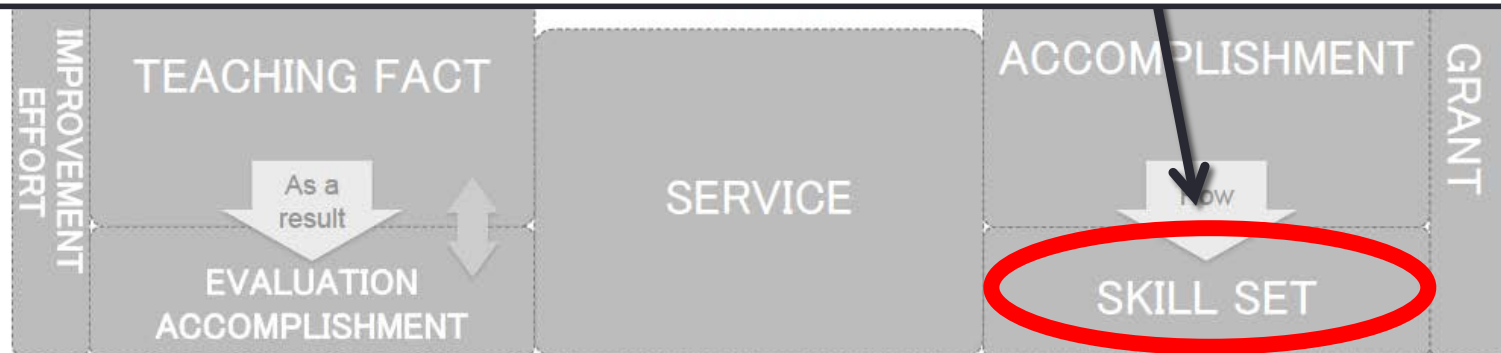
SAP CHART

NAME

「SKILL SET」に、ご自身が持っている研究を行う上で有用な知識・技術・技能を書いてください

（「ACCOMPLISHMENT」で挙げた研究業績で用いている手法や研究を遂行する上で使っている手法について考えるとよいです）

- ・プログラミング言語（C, Java, MATLAB）
- ・質的研究法



# SAP チャート作成 ~研究~



「VALUE」に、「RESEARCH THEME」で書いた研究テーマの意義や目的を書いてください

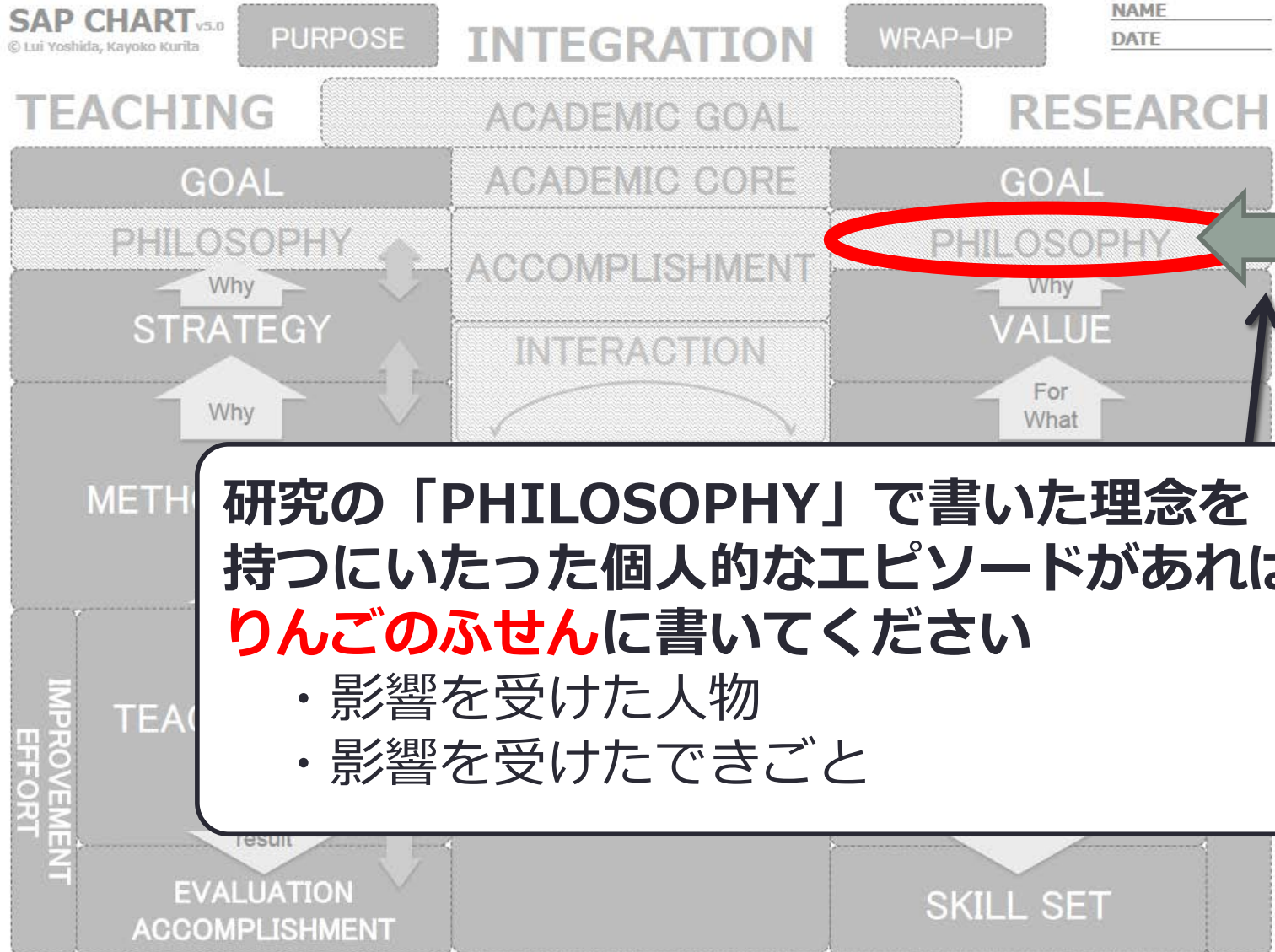
- ・ 高等教育の質保証
- ・ 脳機能の解明
- ・ がんの早期発見・予防

# SAP チャート作成 ~研究~



「PHILOSOPHY」に、なぜあなたは「VALUE」で書いたような目的また意義を感じて、その研究を行っているのかという理由、（お持ちならば）研究理念を書いてください

# SAP チャート作成 ~研究~



研究の「PHILOSOPHY」で書いた理念を持つにいたった個人的なエピソードがあれば  
**りんごのふせん**に書いてください

- ・ 影響を受けた人物
- ・ 影響を受けたできごと

# SAP チャート作成 ～研究～

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_

DATE \_\_\_\_\_

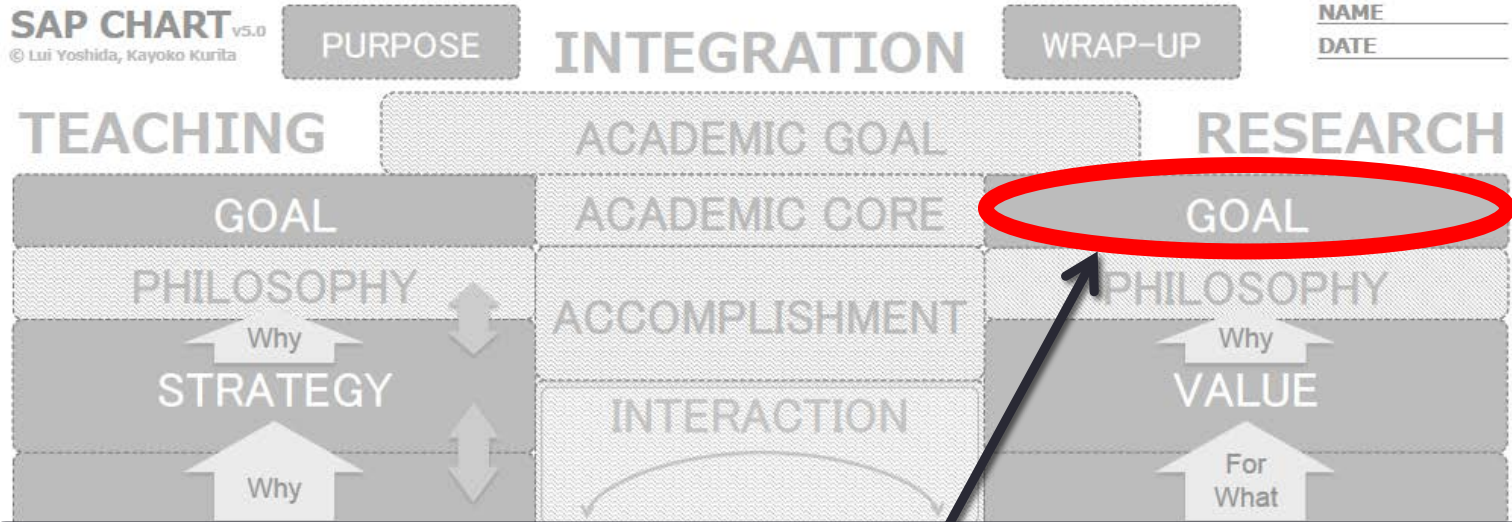
「ACCOMPLISHMENT」 「SKILL SET」 「BUDGET」 の  
内容に対するエビデンスを書いてください

- ・ 論文の抜刷
- ・ 学会発表抄録
- ・ 賞状 (の画像)
- ・ 特許
- ・ 科研費の採択書類
- ・ 資格証明書
- ・ 研修会の参加証





# SAP チャート作成 ~研究~



「GOAL」に「PHILOSOPHY」「RESEARCH THEME」「ACCOMPLISHMENT」「BUDGET」「SKILL SET」を見直して、今後達成したい研究に関する目標を書いてください



# SAP チャート作成 ~シェア~

---

- 手元のチャートをもとに「RESEARCH THEME」「VALUE」「ACCOMPLISHMENT」を相手に**わかりやすく**説明しましょう
- 話し手
  - 専門用語は極力使わない
- 聞き手
  - まずは聞くことに徹してください
  - ポジティブなフィードバック
  - 疑問があれば質問しても構いません

# SAP チャート作成 ~サービス~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

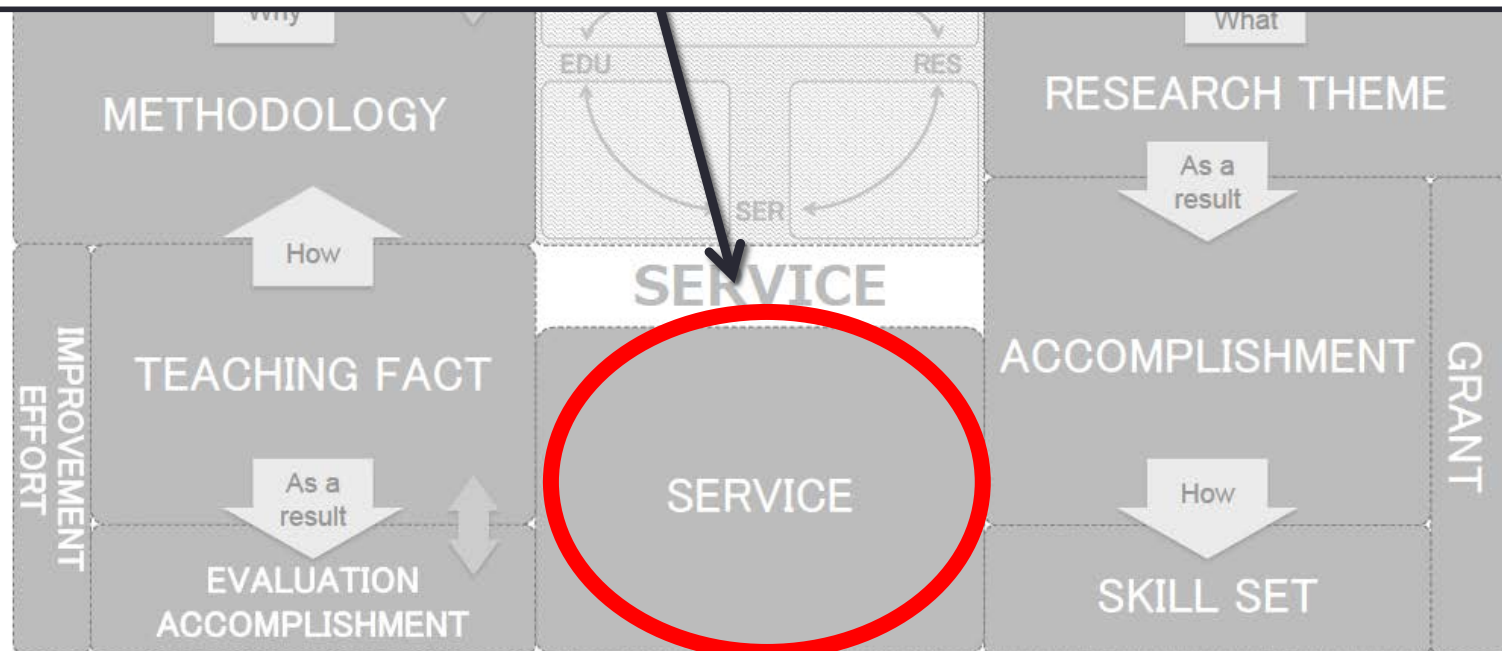
NAME \_\_\_\_\_  
DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

RESEARCH

「SERVICE」に管理運営業務（学内各種委員会委員等），社会貢献活動（学会事務局員，地域連携事業）を書いて，エビデンスもつけてください



# SAP チャート作成 ~サービス~

SAP CHART v5.0  
© Lui Yoshida, Kayoko Kurita

PURPOSE

INTEGRATION

WRAP-UP

NAME \_\_\_\_\_

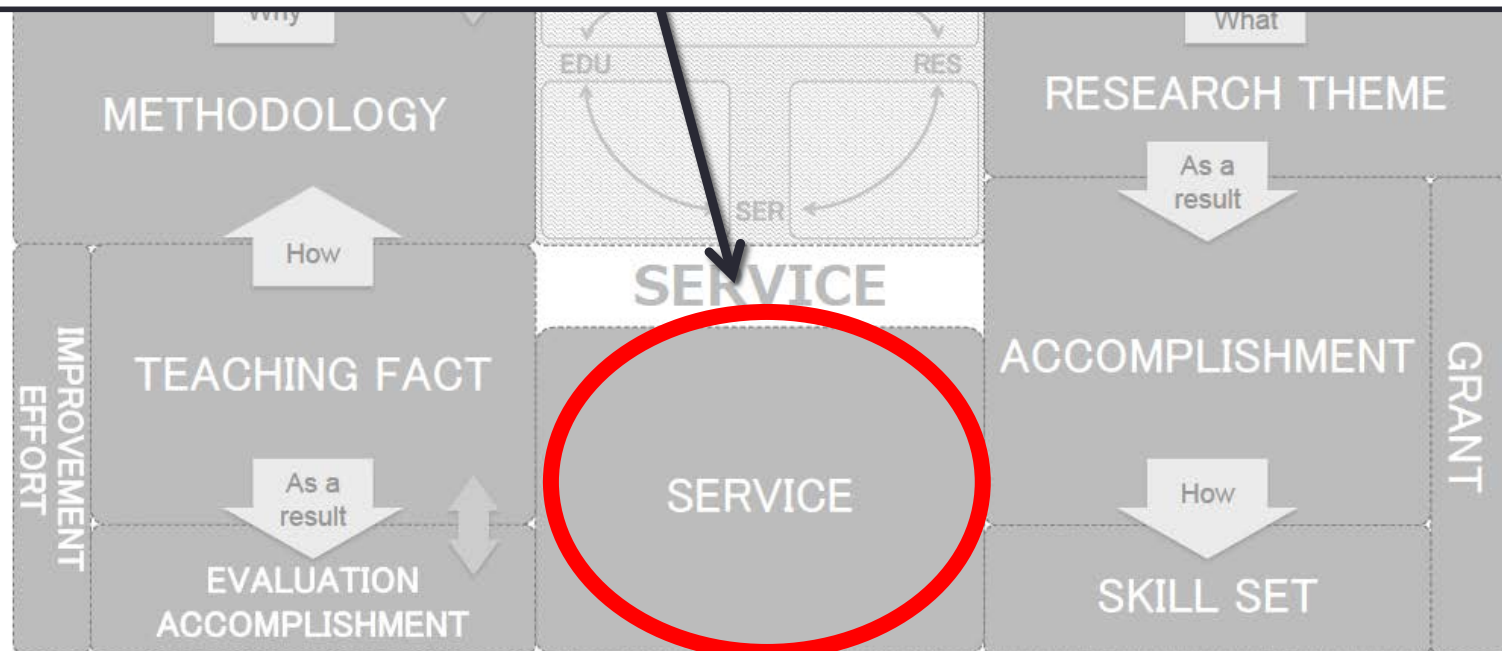
DATE \_\_\_\_\_

TEACHING

ACADEMIC GOAL

RESEARCH

「SERVICE」の活動の中で、重要なものを3つ以内選び、赤ふせんで書き直し、なぜそれが重要なのか、その理由や意義を黄ふせんに書いてください

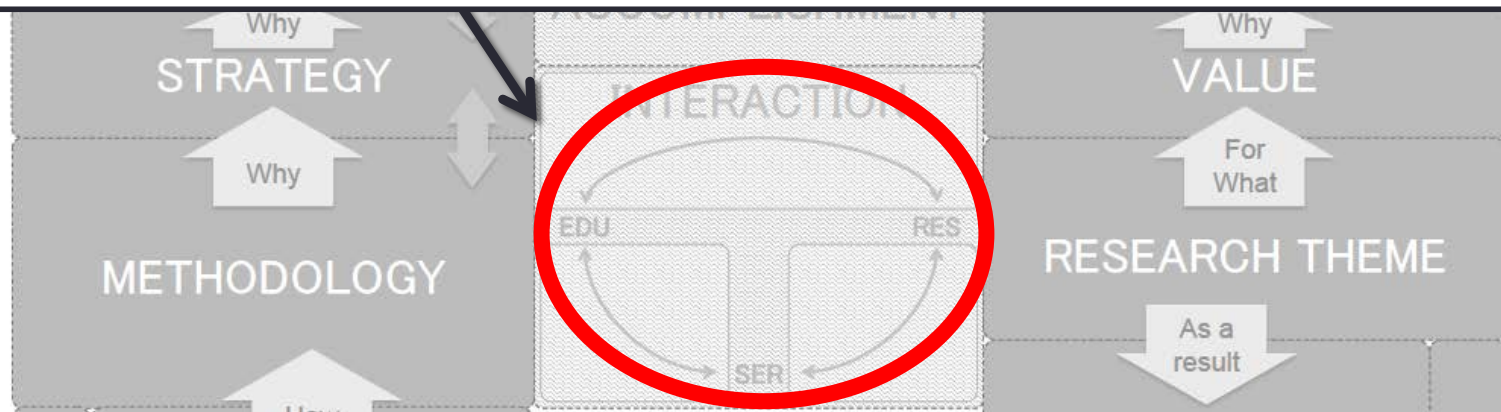


# SAP チャート作成 ~統合~



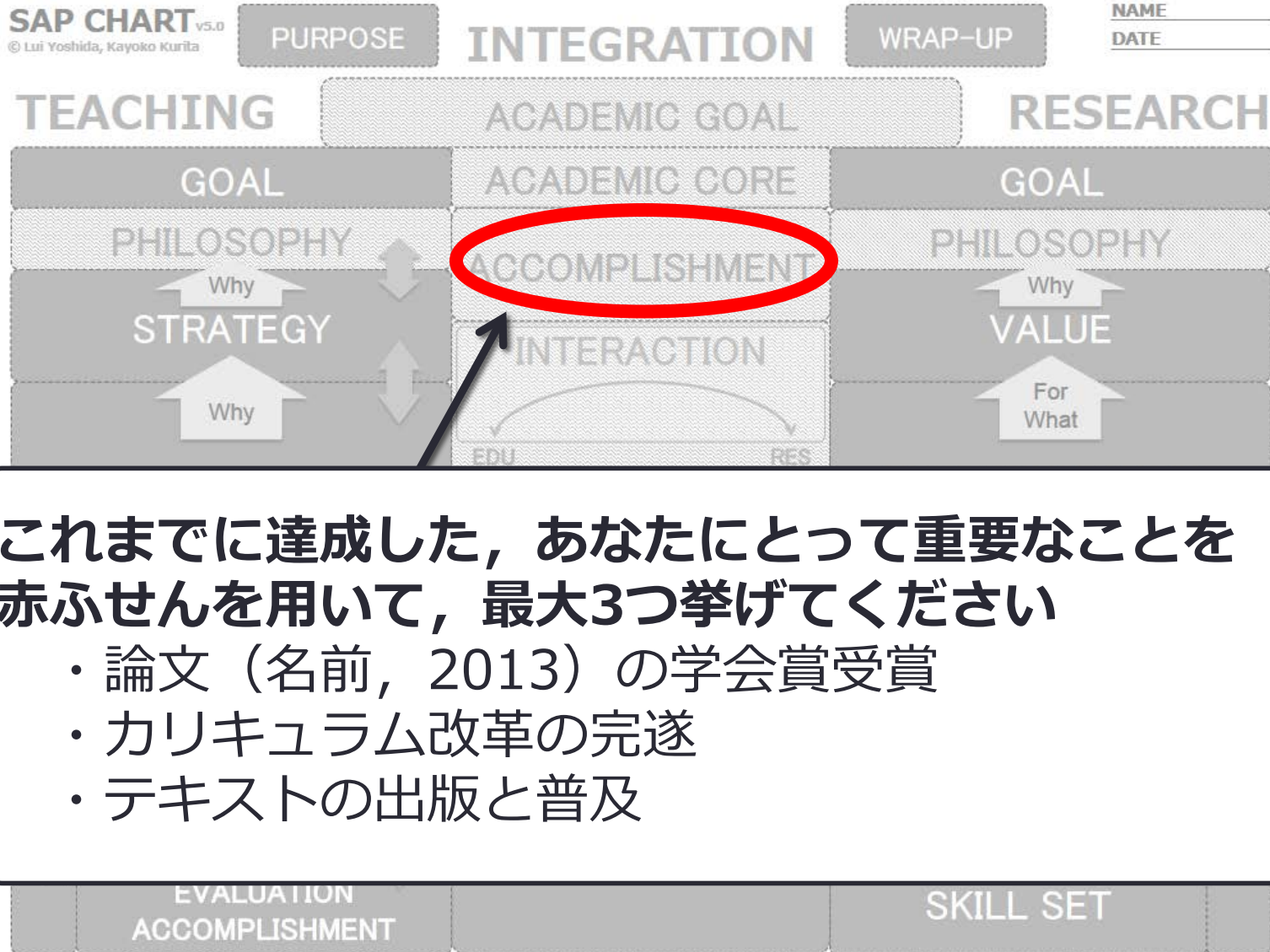
# SAP チャート作成 ~統合~

「TEACHING」 「RESEARCH」 「SERVICE」 の関係について考え, 互いに寄与あるいは貢献をしていることについて書いて下さい

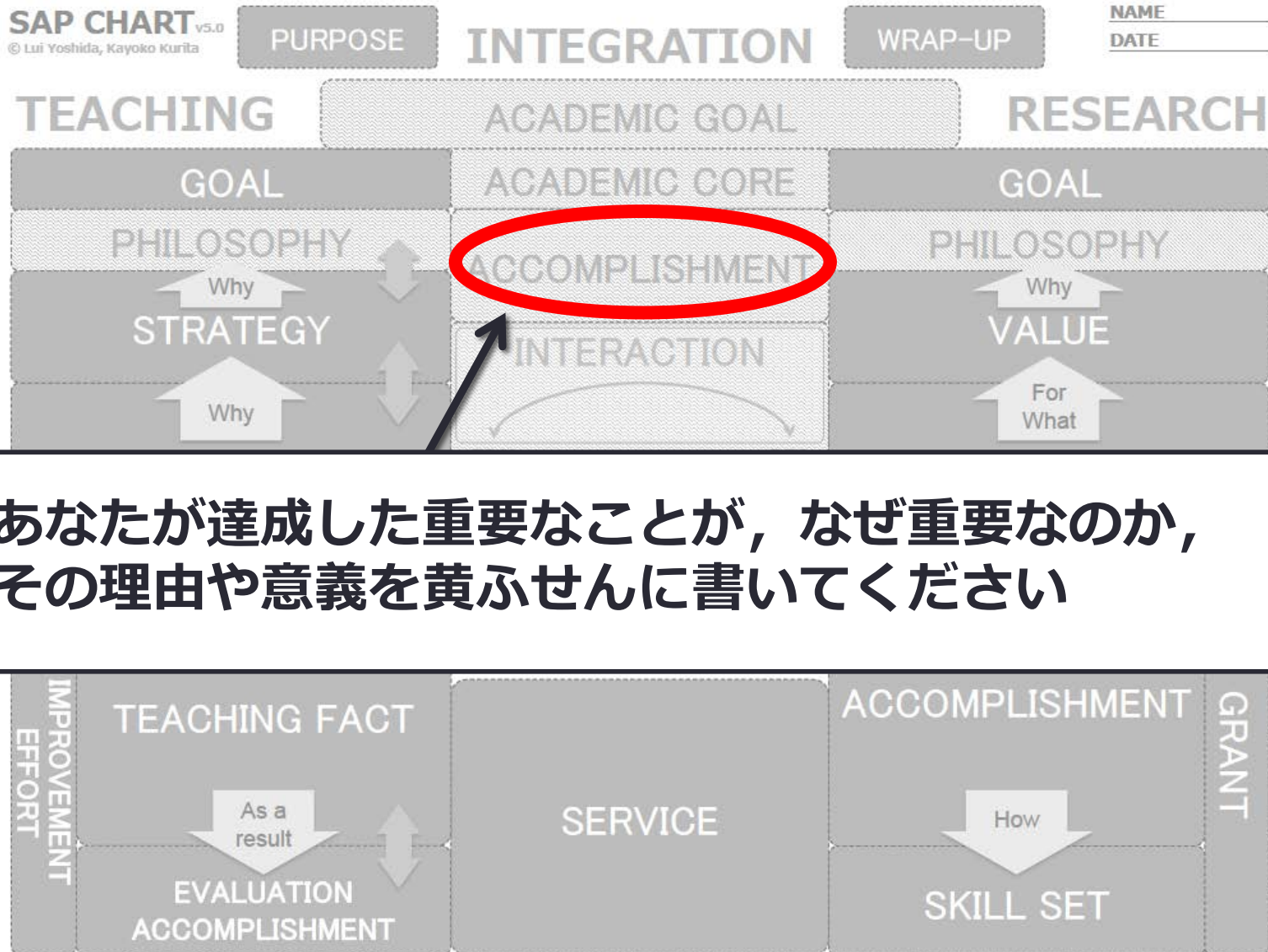


- 教育→研究 教育による研究分野の発展  
教育を行うことで人材を発掘し, その領域の将来の研究者を育てることにつなげようとしている
- 研究→教育 研究における実践的な経験の伝達  
研究から教育への寄与として, 研究での問いの発見や課題解決の方法が, 教育において学生に実践的な経験を伴って伝えられる

# SAP チャート作成 ~統合~

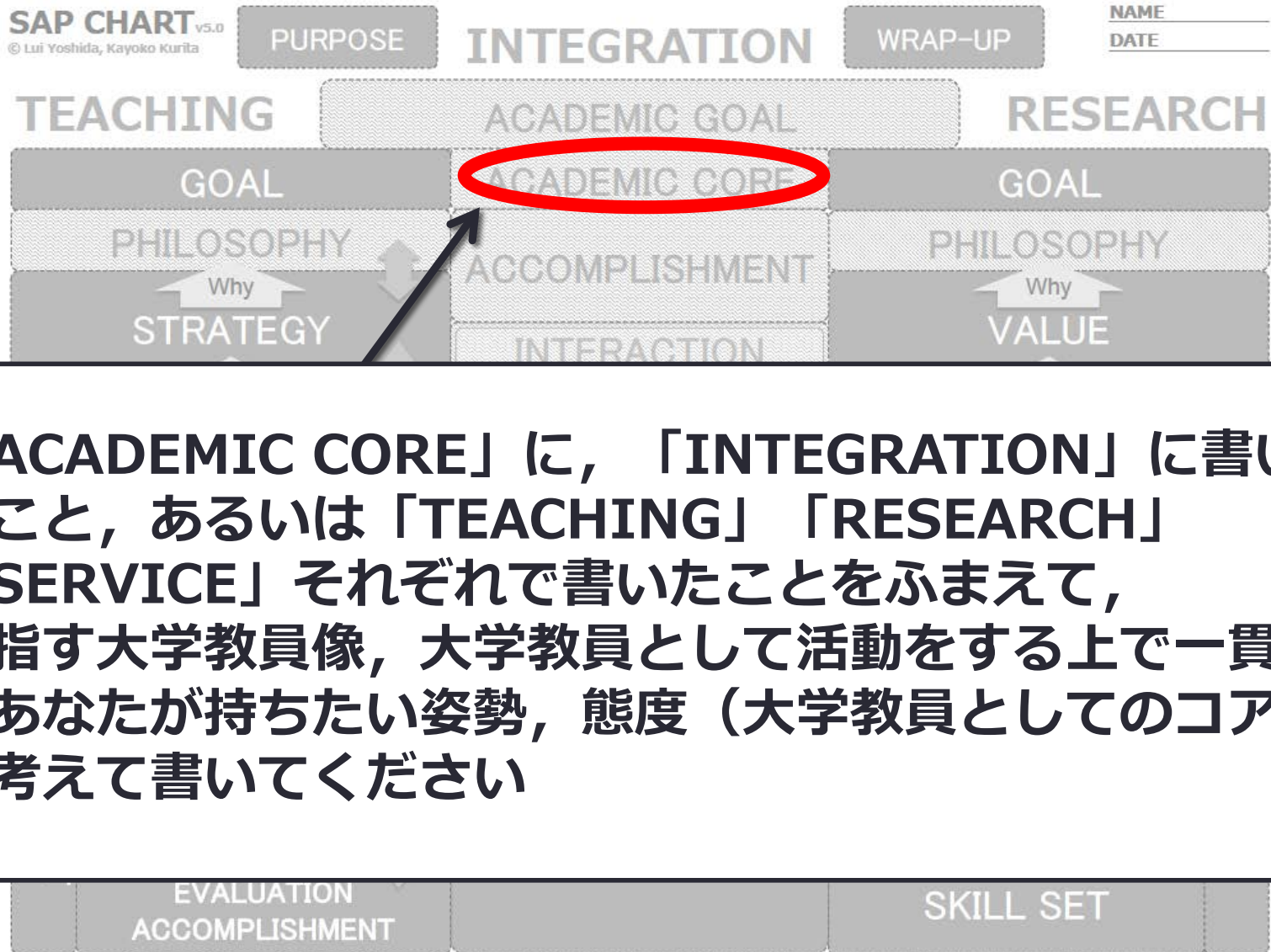


# SAP チャート作成 ~統合~



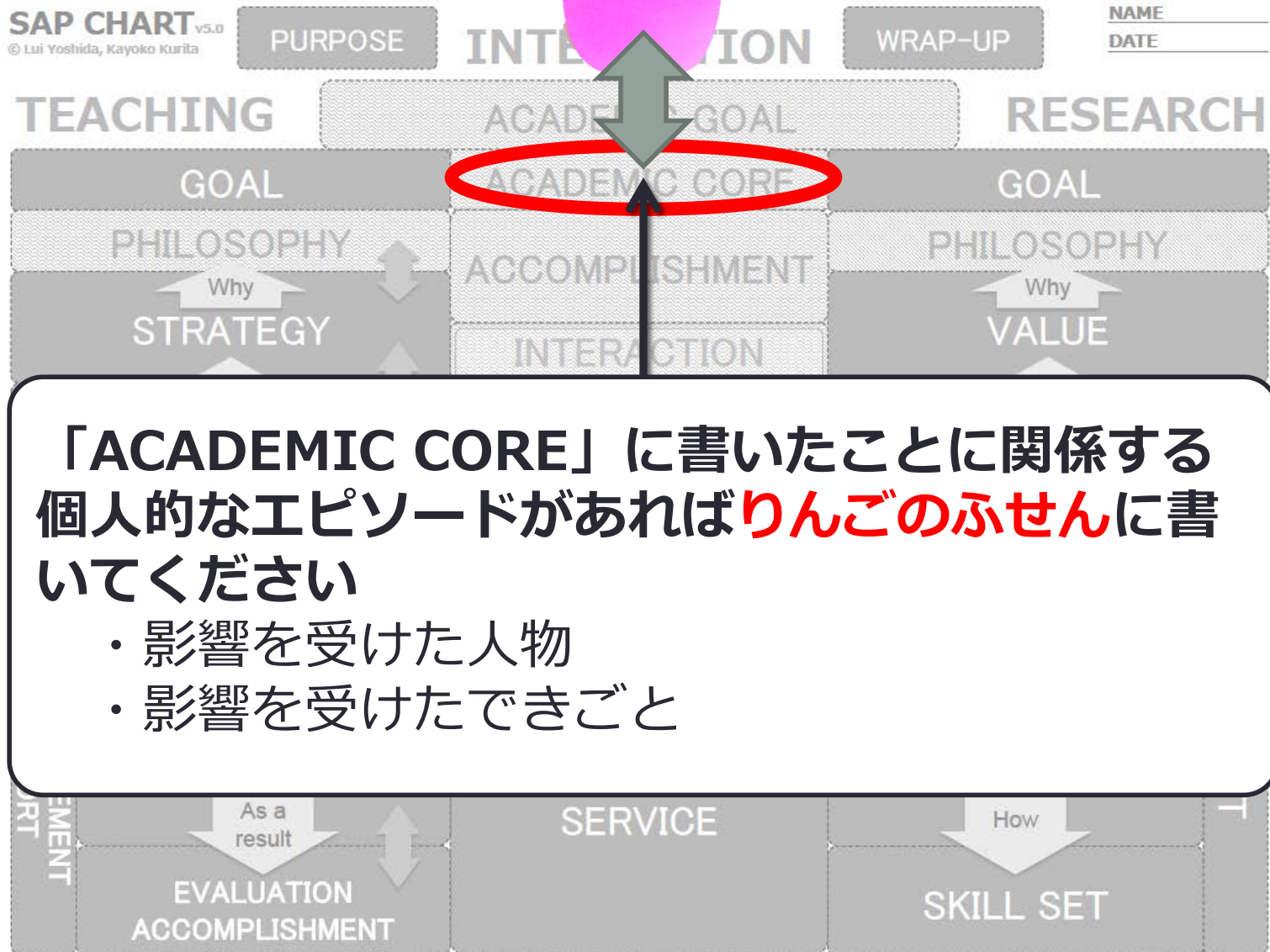


# SAP チャート作成 ~統合~



「ACADEMIC CORE」に、「INTEGRATION」に書いたこと、あるいは「TEACHING」「RESEARCH」「SERVICE」それぞれで書いたことをふまえて、目指す大学教員像、大学教員として活動をする上で一貫してあなたが持ちたい姿勢、態度（大学教員としてのコア）を考えて書いてください

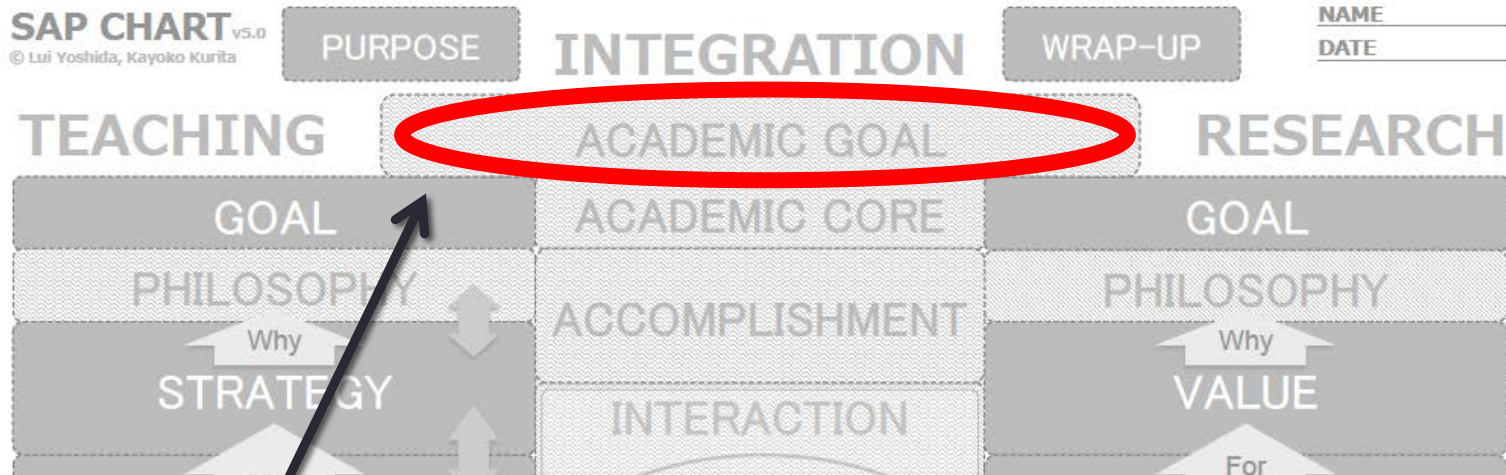
# SAP チャート作成 ~統合~



「ACADEMIC CORE」に書いたことに関する個人的なエピソードがあれば**りんごのふせん**に書いてください

- ・ 影響を受けた人物
- ・ 影響を受けたできごと

# SAP チャート作成 ~統合~



**「ACADEMIC GOAL」に、これまでチャートに書いたことをふまえて、長期的な目標を書いてください**

- ・ 3年以内に助教になる
- ・ 多言語幼稚園を作る
- ・ 自分の分野の研究者を100人育てる

# SAP チャート作成 ~シェア~

---

- 作成したチャートを共有しましょう
- 話し手
  - 統合の部分を中心に相手に説明しましょう
- 聞き手
  - まずは聞くことに徹してください
  - ポジティブなフィードバック
  - 疑問があれば質問しても構いません

# SAP チャート作成 ~作成後の感想~



# SAP チャート ～作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化
- SAP の全体像・作成手順の把握

# SAP チャートから SAP へ

**はじめに** (PURPOSE)

**大学教員としての責任** (TEACHING FACT, OUTCOME, SERVICE)

**教育** (EDUCATION)

理念 (PHILOSOPHY)

方針・方法 (STRATEGY, METHODOLOGY)

経験 (TEACHING FACT)

改善 (IMPROVEMENT)

評価・成果 (EVALUATION / OUTCOME)

目標 (GOAL)

**研究** (RESEARCH)

理念・意義・目的

(PHILOSOPHY, VALUE, RESEARCH THEME)

代表的な研究 (OUTCOME)

獲得した研究資金 (BUDGET)

知識・技術・技能 (SKILL SET)

目標 (GOAL)

**サービス** (SERVICE)

**統合** (INTEGRATION)

各活動の相互作用

(INTERACTION)

主要な成果 (ACCOMPLISHMENT)

目指す大学教員像

(ACADEMIC CORE)

目標 (ACADEMIC GOAL)

**おわりに** (WRAP-UP)

# SAP チャートから SAP へ

1. SAP チャートを作成する
2. SAP チャートの内容を文章化する  
(SUS; Start Up Sheet)
3. 2.で作成した文章を再構成し,  
(他者のサポートも適宜得ながら) 推敲を重ねる
4. 記述に応じた根拠資料を添付し,  
一つの文書として整える





# SAP ～作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化

# SAP ～大学院生による作成の意義～

---

- 活動業績に関する多角的かつ精選された情報の提示
  - 大学教員としての活動の整理および厳選
  - 活動の理念や意義の明示
  - 他者（学生，同僚など）による活動評価の提示
  - 上記の記述に対する根拠資料の添付
- 大学教員としての活動に関する深い自己省察
  - これまでの活動理念・方針の明確化
  - これからの活動方針，キャリアパスの明確化

# おつかれさまでした！

Yoshida, L., & Kurita, K. (2016). Evaluation of Structured Academic Portfolio Chart and Workshop for reflection on academic work. *Procedia Computer Science*, 96, 1454-1462.

ティーチング・ポートフォリオ・チャートおよびティーチング・ステートメントのWS（2日間）

<https://kayokokurita.info/post-638.html>